

## 審議会等の議事の要旨(要点)

(基本情報)

会議名称	第18期第7回 立川市図書館協議会 定例会
開催日時	平成26年1月24日(金曜日) 午後2時00分～午後4時30分
開催場所	立川市中央図書館 4階 会議室
次第	1. 会長あいさつ 2. 報告事項 (1)12月議会報告 (2)その他 3. 協議事項 (1)図書館基本計画中間評価内容の確認について 4. その他
配布資料	1. 12月議会定例会報告について 2. 図書館基本計画中間評価 作業部会評価(案) 3. 図書館基本計画中間評価 今後のスケジュール(案)
出席者	[委員] 加藤委員(会長)、齊藤委員(副会長)、畔田委員、 上田委員、 奥野委員、荒井委員、田ヶ谷委員 [事務局] 小宮山(図書館長)、加島(管理係長)、板谷(サービス第二係長)、 堀口(調査資料係長)、関屋(管理係)
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	(会議録参照)
担当	中央図書館管理係 電話042-528-6800

## ◆第18期 第7回立川市図書館協議会会議録◆

日 時	平成26年1月24日（金） 午後2時00分から午後4時30分まで
場 所	立川市中央図書館 4階会議室
出席者	加藤委員（会長）、齊藤委員（副会長）、畔田委員、上田委員、 奥野委員、荒井委員、田ヶ谷委員
【事務局】	図書館長、管理係長ほか
【傍聴人】	なし

### <副会長>

ただいまより第18期第7回の定例会を開催させていただきます。現時点で定足数の7名に1名足りない状況なのですが、到着の少し遅れている委員さんが1名、間もなくいらっしゃるということでご連絡を頂いております。本来でしたら定足数を満たしてから開催とするところですが、時間の都合もありますので、協議事項については定足数を満たしてから議事を行うということで、一旦始めさせていただければと思います。それでは会長の方からよろしく願いいたします。

### 1. 会長挨拶

#### <会長>

少し時期が遅くなりましたが今年初めての協議会ということで、皆様あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。私たち第18期図書館協議会の委員の任期が6月30日までとなっております。今期最大の仕事が本日も議論をいたします中間評価になってきます。私も市の行政評価の第三者委員会の方にも委員として携わっておりましたし、他の自治体でもこうした評価がだいぶ進んできているようですけれども、とにかく大変な仕事でして、例えば市の方ですと事業の単位で700とか800くらいの数があります。それを全て第三者で行うというのはまず不可能ですので、主な事業をピックアップするような形で行っています。図書館の場合は70項目ということですのですべての項目を評価していますが、非常に大変な評価作業となっているようです。担当職員の方も委員の皆さんも、評価のための作業に追われるような状況だったかと思います。そういった中で能率的に作業を進めるべく今回は作業部会を設けまして、メンバーとなってくださった委員の方々には大変な時間と労力をかけていただいたことと思います。私も部会の方で作っていただいた基礎評価を事前に見させていただきましたが、丸二日かけてようやく読み終わるといような、それだけの量になっています。作業部

会のメンバーとなっていたいただいたみなさん、ありがとうございました。どの項目も非常に整理されておりまして、これをもとに最終的には協議会としての評価にまとめあげることができればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

#### <副会長>

会長どうもありがとうございます。それではまず報告事項から進めていきたいと思えます。12月議会報告について、館長からお願いいたします。

#### <図書館長>

あらためまして、皆様あけましておめでとうございます。第18期の協議会もいよいよカウントダウンに入ってきております。今回はじめて委員の皆様にお手伝いいただき第三者評価ということで、ご負担をおかけしている状況ではございますが、なんとか基礎的な評価案という形でまとまったものができつつあるところです。作業部会のメンバーとなってくださった方々をはじめ、委員の皆様感謝申し上げます。

それでは報告事項ということで、12月議会の報告からさせていただきます。議会報告の内容については、今回も総括資料として事前にお配りさせていただいております。12月議会については11月28日(木)から12月20日(金)まで、土日を通して23日間の開催でございました。図書館に関連する部分に絞って報告をまとめさせていただきます。

まず本会議、一般質問からです。こちらが11月28日～29日と12月3日～4日の計4日間開催されました。全体で24名の質問がありまして、教育部関係で12名、図書館関係は4名の議員からの質問をいただきました。1点目が「図書・読書支援について」ということで特に読み聞かせボランティアについてというご質問でしたが、これはおはなし会ボランティアのことを指しています。特に小学校での活動についてということで、こちらの活動内容を高く評価していただきまして、図書館も練習スペースをはじめとして、しっかりとした支援を行ってほしいということでした。また合わせて例えば謝礼などは可能なかというご質問もございましたが、こちらについてはその他の学校支援ボランティアとの整合性を図って、現在は無償とさせていただいているとの説明をしております。2点目が「雑誌スポンサー制度」の導入についてです。こちらは全国でも2～30の導入事例があるということで議員の方から紹介とともに導入を検討してはどうかのご質問でした。スポンサーの長期安定的な確保などの様々な課題を整理しながら検討を進めていくと回答しています。3点目が「コンパクトシティのまちづくりについて」という質問の中で、従前から何度かご質問いただいている内容ではありますが、高齢社会に伴

ってなかなか図書館へ足を運ぶことができない利用者に対しての何らかのサービスは考えていないのかという話をいただきました。こちらについては最終的には教育長の方から、図書館の形態も色々あるけれども、例えば「まちライブラリー」のような市民がお互い協力し合う取組みについても検討しまして、その中で図書館もリサイクル本の提供をはじめとした支援をしていきたいとの回答をしております。4点目が「第一調理場の跡地活用について」です。これは学校給食の新しい調理場ができましたので、第一調理場の跡地の活用をどう考えているかという質問でございました。栄町地区にあるものですから、色々な施設を考える中で図書館はどうかということでしたが、こちらについては図書館だけでなく、公共施設全体の中でこれから検討を進めていくと回答しています。

続きまして文教委員会になります。こちらは12月12日(木)に開催されております。議案・請願・陳情につきましては泉市民体育館の指定管理者の指定について1件のみございまして、可決されております。なお図書館関係はございません。報告事項については全体で8課9件ございまして、図書館関係も1件ありました。「国立市図書館との相互連携の実施について」ということで、先の図書館協議会でご報告した内容の通りではございますが、改めて資料をつけさせていただいております。ある程度立川市民と比べるとサービスを制限する形になっておりますが、お互いの市民がお互いの市の図書館へ足を運ぶことを通じて、今後の市民交流のきっかけにしていきたいという趣旨の説明をしております。報告事項につきまして、図書館関連の質問を2点頂戴しています。1点目が教育総務課から報告した第一小学校の建替えへの質問に関連する形で、合築される新しい柴崎図書館についての質問です。柴崎図書館の規模やサービスについての質問の中で、特に現在視聴覚資料を置いていないという状況ですので、その辺りはどうなるのかという内容でした。新しい図書館では、数についてはまだわかりませんが、新たにCDの貸出を開始するとの回答をしております。2点目の質問が国立市図書館との相互連携の実施についての質問です。実際に連携を始めたときの利用者の見込み、国立市の図書館の位置、今後の周知方法についてのご質問を頂いております。お互いの利用者数の見込みについては初年度が新規登録で見て、立川と国立で倍以上の違いが出るだろうと考えてございまして、多くの国立市民が立川市の図書館を利用することが予想されます。位置としては国立市の中央図書館よりも北市民プラザ図書館というのが中央線沿線にありまして、国立駅と立川駅の間点くらいの位置にありますので、立川の羽衣町近辺の住人でしたら自転車で通えますし、駐車場も完備していると回答しています。周知方法についてもチラシやポスター、広報に加え、プレスリリースを行った話をしております。相互連携については昨年12月25日に教育長同士の調印式を行っておりまして、新聞報道でも日経以外の主要4紙の多摩版に掲載されている状況です。テレビについてもマイテレビで放送されて

います。またインターネット上の新聞ですが、立川経済新聞というネット系の新聞でも近いうちに掲載したいということで取材が来ております。立川市が26市中最後の実施ということで真新しい内容ではないのですが、思いのほか反響が大きいようです。2月5日から開始ということで、サービス第一係を中心に人員配置や、登録用の窓口の臨時増設など準備を進めております。議会の方でも概ね賛成の状況で、市境に住んでいる場合などは近くの他市の図書館を使えるほうが市民の利便性にもつながるといって進めてほしいという要望も頂いております。

最後に所管事項の質問については全体で3名の議員から5件の質問がありました。が、図書館関連の質問はありませんでした。

<副会長>

ありがとうございます。館長の方から議会の報告がございましたが、何か質問などありますでしょうか。すぐ出ないようですので、先に一つ。雑誌スポンサー制度とまちライブラリーの具体的な中身を捕捉いただいでよろしいでしょうか。

<図書館長>

雑誌スポンサー制度につきましては、図書館では雑誌にカバーをかけた状態で閲覧に供しているんですが、そのカバーにスポンサー名を掲載させていただく代わりに、雑誌そのものの購入・納入をスポンサーさんをお願いする制度です。対象となる雑誌代分の経費をスポンサーさんに負担していただくことで財源を確保していくということになります。

まちライブラリーにつきましては、市民が積極的におこなっていくものでして、市民がそれぞれの商店街やお店の軒先を使って本棚を置きまして、みんなで本を持ち寄って閲覧や貸し借りをを行うような町ぐるみの取り組みになります。あえて公共図書館を設置するのではなく、より身近で手軽なところから読書の機会を設けようというものでございます。

<副会長>

どうもありがとうございます。みなさまおわかりでしょうか。あとは調理場の跡地ですが、そこに図書館が入る可能性というのはあるのでしょうか。

<図書館長>

今のところ具体的な話は全く出てきておりませんので、何とも分からない状況です。

<副会長>

あそこも空白地域になるんですね。

<図書館長>

今回の一般質問もその辺りを含めた質問として出てきております。

<副会長>

立川だと、武蔵砂川の駅のむこうと栄町のところが図書館の空白地域となっていますので、調理場のところに図書館が入れば割とカバーできますね。

<図書館長>

そうですね。かつての図書館協議会からも答申を頂いています。

<副会長>

他には何かありますでしょうか。なければ館長からその他の報告事項をお願いします。

<図書館長>

それでは2点ほど報告させていただきます。まず1点目が図書館大会でございます。今年度は26年2月5日(水)・6日(木)の二日間の日程で多摩地域公立図書館大会が開催されます。テーマは「図書館サービスのこれから」と題しまして、特に今後の収集・保存についてですとか、情報が多種多様化してきている状況の中で図書館サービスはどうするかですとか、図書館職員の視点から色々と考えてみようというものになります。初日の第一分科会が以前「公立無料貸本屋」というキーワードでも非常に有名となった『図書館に通う』の著者である宮田昇さんをお招きする基調講演となります。二日目が第二・第三分科会となっております。それぞれ地域資料に関する分科会と障害者サービスに関する分科会となっております。場所についてはこちらのAIMを使って行います。実は幹事市は立川ではないんですけれども、今回の幹事市のあきる野市から、どうしてもということで依頼がありまして立川で協力することとなりました。委員の皆様におかれましても、ご都合つきますようでしたらご参加いただければと思います。続いて2点目ですが、第二中学校の研究発表会のご案内です。第二中学校は図書館協議会の委員でもいらっしゃいます常盤校長先生の学校なのですが、こちらで2年生を対象としたビブリオバトルを開催するそうです。なかなか5分間という限られた時間で効果的に本をPRするというのが中学生レベルでどこまでというのはあるのですが、それでも敢えてやってみたいということで、1月31日(金)の1時半ごろから各クラス単位で

のビブリオバトルを行いまして、こちらを研究授業としてございます。その後2時半ごろからは最終決戦ということで各クラスのチャンプによる発表も行います。図書館でも各館でチラシを配布しておりまして、学校関係者でなくても自由に見学ができるそうです。こちらにつきましてもお時間ありましたら是非ご覧いただければと思います。以上です。

<副会長>

ありがとうございます。その他の報告ということで多摩地域公立図書館大会の話と二中の研究発表の話がございました。研究発表の方は会場は第二中学校ということでよろしいでしょうか。

<図書館長>

はい、そうです。

<副会長>

わかりました。委員の皆様から何かご質問ありますでしょうか。なければ私から、報告事項とは別に一つお伺いしたいのですが、国立国会図書館の資料のデジタル配信が始まりました。概要としては、国立国会図書館が資料のデジタル化を進めていまして、明治大正が終わって、まだ継続中ではありますが今の時点で1986年までの資料がPDFファイルとしてデジタル化されています。そのデジタル情報を公開していくということなのですが、著作権の問題がありますのですべてをインターネットで誰でも自由というわけにはいきません。そこで著作権が残っている資料で、現在発売されていない、手に入らない資料については図書館の中限ってコンピュータの端末を使って公開をするということになりました。この取り組みが今年の1月21日(火)からできるようになりました。今までは現物を国立国会図書館から取り寄せなければならなかったのですが、これを図書館の中であればデジタル情報として自由に見られるというようになったわけです。ただ国立国会図書館のPRなども遅くて、各図書館なかなか対応ができてないようなんです。こちらの立川市の状況と今後の見通しについて教えていただけますでしょうか。

<図書館長>

立川としても前回の図書館総合展で情報を仕入れまして、システム担当の方で状況の確認を行ったのですが、現状の図書館システムの端末では見られないということがわかっております。今は手元に資料がないので細かいところまでご説明できないのですが、国会図書館の方でデジタル配信を受けるための必要スペックをいくつか出しているのですが、その中の一つの項目がかなり高い条件になっ

ていまして、システム業者にも確認を取ったのですが現在の立川市の端末ではそのスペックを満たすのが非常に困難であるということがわかっています。おそらくほとんどの公立図書館でも簡単にはクリアできない条件のようで、新しい端末を用意したり、回線を確保したりということも含めると現状では対応ができないという結論になっています。ここのところ全国紙も見ているのですが、色々な県の図書館でデジタル配信を受けられるようになったというニュースを5、6件くらい目にしたのですが、全国でその程度ですので、まだまだ対応が進んでいないようです。

<会長>

私もニュースで見ましたね。大学図書館で学生が利用している様子を見ていましたね。

<副会長>

著作権の関係であまりハードルを下げるのも難しいようです。全部を公開というわけにもいきません。出版している側としては売らなければいけませんから、出版されているものは公開できません。出版社も絶版という言い方はなかなかしませんが、どうしても手に入らないものについて公開ということになっています。

<A委員>

近隣でやっているところというのはあるのでしょうか。

<図書館長>

私が確認している範囲ではすべて地方でした。近隣ではないですね。昨日見たのも長野県でしたし、ほとんど県立クラスだったと思います。市町村レベルでは特に上がっていないはずです。

<副会長>

わかりました。さて、一通り報告は終わっておりますがまだ遅れてくる委員さん一名が来ておりません。会長どうしましょうか。

<会長>

やはり定数が過半数ということで、そろっていない状態では協議を行うことはできません。ここまで報告事項としても、一旦休憩として協議については一名いらっしゃってから始めましょう。



<図書館長>

皆様の貴重なお時間を頂戴している中で、大変申し訳ありません。

<副会長>

それではいったん休憩といたします。

\*\*\* (約10分休憩。遅れていた委員が到着) \*\*\*

<副会長>

お待たせいたしました。ただいま遅れていた委員さんがいらっしゃいまして、定数の過半数に達しましたので協議会成立となります。報告事項までは終わりました、協議の方から始めさせていただきます。まずは館長の方から概要についてご説明いただいでよろしいでしょうか。

<図書館長>

それではお手元の資料をもとに進めさせていただきます。図書館基本計画の中間評価についてです。前回の定例会が終わりました後に作業部会を組みまして、3名の委員の方を中心に、相当の時間をかけまして全70項目について評価案をまとめさせていただきました。なお、お配りしている資料の方は議論を進めやすいように比較的ゆとりを持った書式にしていますが、最終的に中間評価として完成させるときはもう少し圧縮したものとする予定です。それぞれの項目で概要や成果指標、取り組み状況、事務局評価と皆様から頂いたABC評価やコメントを掲載し、最終的に作業部会評価案という形で文章にしています。また、作業部会を進めるに当たりまして、そもそもの事務局評価についても直した方が良い部分があるのご意見を頂いておりまして、こちらについても議論を行い、文言まで含めて何項目か修正を加えています。70項目とかなりのボリュームになりますので、今日一日ですべてを見るというのも難しいと思います。まだ後程、今後のスケジュールということでご説明もいたしますが、一旦お持ち帰りいただいて見ていただいたうえで修正等あれば加えていく形になります。

<副会長>

ありがとうございました。スケジュールについては後でまたお話しいただきます。1項目ずつ、すべての項目を見ていただいたということで、すべて見るのに丸2日かかったということです。最終的には圧縮した書式にまとめるということで、評価の部分もある程度コンパクトなものにまとまってくるのでご留意ください。また事務局評価の部分については外部評価委員としては見たり見なかったり分か

れるのですが、今回は初めての試みということもありますし、作業部会委員からもいくつかご意見を頂いたとの事ですので、元の評価から文言の修正、あるいは評価レベルの変更がかけられている部分があります。また作業部会の中で評価していると、70項目の中で結果的に内容の重複するものがいくつかあったようです。こちらについては既に内容の確認されているものなので、今回については項目そのものに手を加えていくことはいたしません。作業部会の中ではもう少しまとめたほうが良いというような意見が出ています。今回こちらの資料を見るとわかりますが、多くの項目は事務局評価と作業部会評価がABCで一致して出てきていますが、中には事務局がBだったものが作業部会でAになるというように、評価が上がったものがいくつかあります。下がったものはほとんどなくて、上がったものがいくつかあるので、このあたりも委員の皆様には注意して見ていただくとコメントいただければと思います。今日のところはその辺りの説明と、今後のスケジュールについてですね。では館長お願いします。

#### <図書館長>

今日配って今日ご意見を頂戴するというのはなかなか難しいかと思しますので、次のようなスケジュールで進めさせていただければと思います。まず本日、お配りした作業部会評価案の提示と捕捉説明を行います。その後、ひと月ほど時間を取りまして、2月末までに皆様に見ていただいたご意見を出していただければと思います。そのご意見の量や内容にもよりますが、3月上旬から中旬にかけて、会長と副会長による調整をかけさせていただきたいと考えています。場合によってはもう一度作業部会を開催させていただくような可能性もありますが、大きな変更等がないようであれば、会長副会長の方で進めさせていただければと思います。その上で3月の中旬頃に中間評価の最終案という形にまとめて、送付させていただき、最終確認をしていただきたいと思います。もしこの段階で修正などが出るようでしたら会長一任とさせていただきます。最終案の確認後、4月上旬に皆様に中間評価の決定稿と利用者アンケートの結果を皆様にお送りいたします。各委員の皆様には最終的な確認とともに、今後の基本計画策定に向けた課題や重点項目なども考えていただいて、4月の下旬の今期の最終の図書館協議会でその辺りを挙げていただければと思います。

#### <副会長>

ありがとうございます。まずは2月末までに作業部会案についてご意見を頂戴するということですね。その後、その意見の量や内容次第でもう一度作業部会を開くか、会長と私とでまとめていくかということになります。3月中旬にそのまとめたものを文字に起こして、最終案・決定稿と仕上げた上で、4月下旬の最後の

定例会で重点項目や課題につなげていくという流れです。ちなみに最終的には会長から館長に外部評価としてまとまったものを会長名で報告させていただくという形になりますがよろしいですね。

<図書館長>

はい。

<会長>

また細かいところは改めて調整いたします。

<副会長>

わかりました。委員の皆様はこういったスケジュールでいかがでしょうか。特になければ、次に各項目の中で評価の変更があった部分を館長からご説明いただきます。

<図書館長>

それでは全項目見るとかなりの量となりますので、文言の細かな表現レベルの修正は省略しまして、大きく内容を追加したところとABCの評価レベルが変わったところを重点的にご説明します。

まず項目(6)「視聴覚資料の収集保存の見直し」について、当初事務局評価はC評価でした。事務局レベルでは検討段階にあるということでC評価だったのですが、まったく何もやっていないわけではなく、検討が進んでいると言えるところのご指摘がありまして、B評価に変更をしています。次に項目(11)「調べ学習の支援」について、B評価には変更ないのですが、25年度以降の取り組み内容が文中に含まれており、22～24年度の評価には適さないだろうというご意見から修正を行っています。それから項目(17)「関連機関との相互協力体制の支援」について、C評価からB評価に修正しています。こちらについてはまだ定期的な協力体制というほどには至っていませんが、個別のイベントでは指定管理の行う講座も含めて、立川市図書館として様々な機関と連携事業を行っていると言えるところのご意見を頂いたことで修正をしています。項目(24)「図書管利用の案内・お便り・本の紹介の発行」という項目ですが、こちらは事務局の手違いで評価が空欄になっておりました。取組状況としては革新的なものではございませんが、継続して様々なパンフレット・リーフレットを発行しているということでB評価とさせていただいております。項目(26)「児童フロア・児童コーナーの環境整備」の部分で、24年度にえどうわの分類の資料について全館で著者別の配架に統一をしたという内容が漏れておりましたので、そちらを追加させていただいております。項目(27)「学校への団体

貸出用図書と体制の充実」につきましては先程と同様25年度の内容が含まれておりましたので修正しております。項目(29)「保育園・幼稚園・児童館・学童保育所・学習館・健康推進課等と図書館の連携」については当初C評価でしたがB評価に修正させていただいております。リサイクル図書の提供や職員向けの読み聞かせ出前講座など、部分的ですが取組実績があるというご指摘から、その辺りを加味してB評価に修正しています。項目(30)「子ども向け情報リテラシーへの支援活動」も当初事務局ではC評価という内容でしたが、一日図書館員や半日図書館員、図書館クイズといったイベント時の取り組みが漏れておりましたが、作業部会の中でそうした取り組みも情報リテラシーの入り口として評価できるとのご指摘を頂きまして、そちらを加えた上でB評価に修正しています。

#### <副会長>

ただ、事務局はB評価に上げたんですけれども、作業部会はC評価なので結果的にここでは下がっているということになります。図書館内だけではなく、情報リテラシーを育てる場としては学校が重要なのでそちらとも連携を強化するべきだとして、作業部会としては追加の内容を加味してもC評価ということでした。

#### <図書館長>

次は少し飛びまして、項目(38)「就労支援情報の提供」になります。こちらは当初B評価だったのですが、ビジネス支援の取り組みについては立川市は図書館内だけではなく、産業振興課と連携して、予算まで確保しているということで、他市などと比較しても貴重な取り組みをしているとのご指摘から、今後さらに商工会議所等と連携強化していくところまで含めて最高のA評価に直しております。次の項目(39)「外国語資料・情報提供の充実」についてですが、当初C評価としておりましたが、外国語の館内案内だけを見て低い評価としていたのですが、26市の外国語蔵書数で見ればトップクラスなのではないかというご指摘を頂きまして、調べたところ26市中トップクラスどころか、1万5000冊でトップでございました。蔵書総数に占める割合で見てもトップでして、外国語資料の充実という面ではかなり進んでいるということでB評価に改めさせていただきました。項目(40)「貸出サービスの充実」について、評価は特に変更していませんが、作業部会から立川市の人口一人当たりの貸出冊数はどの程度なのかというご質問がありましたので、そちらの数字を追加しております。次が項目(41)「自動貸出機、自動返却機の導入」ですが、こちらは当初B評価でした。実際のシステム導入は25年度ということで評価対象外になってきまして、導入前の時点なのでBという評価をしていたのですが、作業部会の議論の中で準備段階も非常に重要で、そこが遅滞なく予定通りに進められたということが評価できるということで修正しています。次が項目

(42)「宅配サービスの検討」ですが、検討段階ということでC評価にしておりましたが、他市の状況調査を行い、実際に実施している自治体がほとんどない状況も踏まえて、検討自体は行っており、何もしていないわけではないとご指摘いただき、評価をBに上げています。項目(43)「返却場所の拡大」ですが当初B評価でした。24年度に窓口サービスセンターの移転により利便性の減った部分があったのでB評価としていたのですが、新たに設置した北口のポストが24時間使える2基のものであるということや、図書館空白地域である羽衣地域の子ども未来センターにもポスト1基が設置されたことから拡大要素の方が大きいのだろうというご指摘を頂き、利用機会は増えたということでA評価に修正を加えています。また少し飛びまして、項目(51)「立川市関連記事見出しデータベースの充実」も当初B評価でしたが、新聞記事から立川市関連記事の見出しとキーワードを1989年4月分からデータベース化して、ホームページから見出しの検索ができるということで、作業部会の中でもこれだけのものを継続してデータベース化してきているのにB評価でいいのかというご指摘を参考にA評価と改めています。もともとの事務局評価がA評価がほとんどなかったということもありまして、BからAへの修正というのがいくつか出てきています。あとはほとんど文言の表現修正ですので大きく評価が変化したものはございませんが、項目(62)「市内公共施設との連携と活用」で、生涯学習推進センターと共同で行ったイクメン講座の事業が漏れておりましたので追加をしております。大きな修正点は以上です。

#### <副会長>

ありがとうございました。私の方からも事務局評価と作業部会評価が異なっている部分について簡単に見ていきます。項目(30)「子ども向け情報リテラシーへの支援活動」ですが、事務局評価がBになりましたが作業部会はC評価です。情報リテラシーについては図書館だけでは限界があって、学校との連携が重要という意味でもう少し頑張ってもらいたいとしてC評価になっています。次に項目(36)「ビジネス情報の提供」の部分ですが、先ほど館長も仰っていましたが市の方で予算をとって継続している例というのはあまりありません。そういう点が評価できるということで、作業部会としてはA評価を出しています。項目(40)「貸出サービスの充実」では人口一人あたりの貸出冊数が10.11冊を超えているということで、日本の平均が5.5冊くらいですから、その倍くらいの数字を維持してきているという状況を考えるとA評価でもいいのではないかとということでした。続いて項目(59)の「ボランティア団体等への支援と連携」です。ボランティア団体さんとも長いお付き合いということで、今も児童サービスやハンディキャップサービスの色々な場面で一緒に作業をしております。当然自主性を尊重しながら、活動を支援できているということでA評価にしています。最後に項目(65)「自動貸出機、自動返

却機の導入」のところですが、導入は25年度だったんですけれども、それに向けた作業というのが意外と大変だったものと思います。そこをしっかりとやってきたというところで評価を上げているとのことです。以上が事務局評価と作業部会評価の違いですので、その辺りも参考にしながら皆さんの方で改めて各評価について見ていただければと思います。会長の方からは何かありますでしょうか。

#### <会長>

定例会が始まる前に館長や副会長とも少しお話しているのですが、私の方で気が付いた点を述べさせていただきます。まず一つが今後のスケジュールで館長にお願いしたいのですが、およそのスケジュールは今回ご提示いただいたわけですが、かなり最終的な段階まで来ていますので、今日欠席した委員さんも含めて是非皆様からコメントいただけるように、具体的な日にちまで入れた形にして改めてお送りいただければと思います。それから評価の方ですが、これは行政評価の一つということになりまして、立川市としても700項目に及ぶ行政評価をやっているわけですが、それと今回の図書館の評価表の内容が違っていています。評価表の作り方というのも自治体ごとに違う部分もあるのですが、市と図書館とで明らかに違っていると質問としても出てくると思います。その辺りをご留意いただきたい。その上で、これは評価ということでは端的に言えば良いか悪いかです。市の行政評価を例に言えば、一番評価の良いのが「妥当」、次が「概ね妥当」、次が「一部不適切」、最後に「不適切」となります。これが立川市の評価のやり方なんですけど、図書館の場合ですとABCの3段階の評価になっていて、A評価というのが「計画通りに実施でき、一定の成果がある」となっています。これをもっと端的な表現にした方が良いと思うんですね。例えばA評価は「計画通りに実施できている」、B評価は図書館の示しているものだと「課題はあるが、概ね計画通りに実施できている」なんですけど、前半は取ってしまって「概ね計画通りに実施できている」、C評価は「不十分な点や課題が多く、計画通りに実施できていない」となっているのを「不十分な点が多く、計画通りに実施できていない」というようにしてはどうかと思います。そうすると多少ですが市の形式に沿ったものになるかと思います。それから評価表の方なんですけれども、こちらは最終的には議会に通して、一般公開されるものです。なので議員が見ても、一般市民が見てもわかりやすい評価表であることが一番大事だと思います。今回の評価表は既にかなりわかりやすくまとめていただいているんですけれども、更にこれに一工夫加えまして、「概要」のところは何の概要だかわかりにくいので「施策の概要」として、「成果指標」のところを「実施状況」とか「達成状況」とかいった言葉にするとよいかと思います。そうするとそこを見て評価、というのがわかりやすくなってきます。下半分には現在作業部会のコメントや評価が入っていますが、文章を読んでみますと課題や

要望も多く入っています。そこで、最終的な「協議会の評価・意見」という項目を作りまして、次の基本計画にフィードバックしていくようなつなぎりにしてはどうかと考えました。

<副会長>

どうもありがとうございます。会長からは全体的な表現や書式の整理の仕方についてのご意見を頂きました。今の話について何かございますでしょうか。一応、今のような方向で修正をかけていただいでよろしいでしょうか。他の部会の委員さんはいかがでしたでしょうか。

< B 委員 >

非常にすっきりして良いと思います。

<副会長>

まあ今配ったばかりというところもありますので、まずは一度お持ち帰りいただいて、じっくり見て、何かあれば内容でも表記についてでも、ご指摘いただければと思います。館長から提示いただいたスケジュールでは2月末までにご意見を頂くような流れになっていますので、特に問題なければそれに沿って進めさせていただければと思います。その後は私と会長の方で調整させていただいて、またご連絡を差し上げます。よろしいでしょうか。今日お休みの委員さんにもご連絡ください。

<図書館長>

わかりました。

< A 委員 >

すみません、一つだけ。4月の中旬に次の基本計画に向けた重点事項を各自出すということでしたが、これはそれぞれ自宅ということでしょうか。立川の図書館を全体的にどういう方向性で、というような話になると各自では非常に難しいような気がするのですが。

<図書館長>

協議会の最終回で協議会としてのご意見を頂くにあたって、最終回のその場でききなりまとめるのは難しいだろうと思ひまして、そのように書かせていただいております。

< A 委員 >

例えば考えるにあたってのポイントなんかをお伺いしてもいいものでしょうか。

< 図書館長 >

それを事務局から言ってしまうと誘導のようになってしまうので、できれば自由に委員の皆様にご考えていただきたいのですが。

< 会長 >

今回70項目について、色々コメントをまとめて評価をしたわけですから、その中で是非次の計画に向けて重点的に取り組んでほしい項目を例えば5つぐらい上げてもらえればそれでいいのではないのでしょうか。それぞれの委員さんごとに、そこまで難しく考えずに、図書館として頑張りたいところを挙げておいてもらえれば十分だと思います。

< B 委員 >

すみません、私の中では勝手に今回の評価を踏まえて、図書館の方で次の基本計画に向けた重点事項みたいなものをまとめた資料をつくられて、それについて協議会にいかがでしょうかと諮るような形をイメージしていたんですが、そうではなくて協議会として挙げていくのでしょうか。

< 図書館長 >

そうですね。今のところ、図書館として次の基本計画のための重点事項のようなものを作成して協議会に諮ることは、次の19期の図書館協議会でと考えています。ただ、今回こうして評価をしたわけですので、評価を行った委員の皆様からも引継ぎではないですけれども、是非19期にもつなげてほしいという、重要だと考える部分についてのメッセージを送っていただければと考えています。

< B 委員 >

なるほど、そういう意味なんですね。わかりました。

< 副会長 >

また最終案をお送りいただくときに、その辺りの話をつけて送っていただけますでしょうか。

< 図書館長 >

そうですね。どうしても重点課題と言いますと重々しく感じてしまう部分もあ



りますが、18期の皆さんの苦勞を19期につなぐという意味では、意見や感想からのニュアンスでもいいかもしれません。

< B 委員 >

これはまた事前にメールか何かでお送りするような形になりますでしょうか。

< 図書館長 >

いえ、それぞれ考えておいていただいて、最後の定例会の場で直接お伺いできればと思います。

< 会長 >

あとはABC評価について、Aがいくつ、Bがいくつ、というようなのが一覧できるような表があると良いと思いますので、ご用意ください。

< 図書館長 >

わかりました。

< 会長 >

今回非常に大変な作業ではありましたが、副会長や作業部会のメンバーなど、図書館について知識や熱意のあるメンバーも多くいらっしゃったおかげでこうして形になってきています。なかなかこれだけのものをゼロから作り上げるというのは大変なことで、これが今後の立川市図書館の外部評価のベースになってくるんだと思います。そういった意味では今期の図書館協議会でこの評価に取り組めたというのは非常に素晴らしい成果だったのかなと思います。

< 図書館長 >

そうですね。事務局もかなり細かく見ていただいて、大変ありがたく思います。

< 副会長 >

それではよろしいでしょうか。他になければ中間評価については以上とさせていただきます。最後に、委員の皆様からその他議題や報告などありますでしょうか。もしなければ次回の日程ですが、案としては4月25日(金)というのが挙がっています。いかがでしょうか。来年度にならないとわからないでしょうかね。ではとりあえず25日で設定させていただきます。ご都合悪ければ随時ご連絡いただければと思います。

最後に確認ではございますが、定員12名のところ、7名の委員さんにご参加いた

だいて協議を行いましたので、本日の図書館協議会の議事はすべて承認されたものとさせていただきます。これで第18期第7回立川市図書館協議会を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。